

コロンビア政治情勢（3月分）

1 概要

【内政】

- 7日 FARC党の大統領選挙出馬断念
- 大統領選挙立候補登録締切り
- 11日 2018年国会議員選挙
- 15日 ELNとの和平交渉再開
- 17日 米国が麻薬取引の取締りのための国際戦略レポートを発表
- 26日 エクアドルでの報道関係者誘拐事件
- 大統領選挙世論調査

【外交】

- 1日 第7回コロンビア・米国ハイレベル会合
- 6日 テレビ電話方式による太平洋同盟サミット
- 11～13日 ビーズリー国連世界食糧計画事務局長の当地訪問
- 13日 マーリキー・パレスチナ外務・移民庁長官の当地訪問
- 15～17日 ライチャーク第72回国連総会議長の当地公式訪問
- 16日 スティリアニデス欧州委員会人道援助・危機管理担当委員及びカサス・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官の当地訪問
- 20日 サントス大統領のブラジル訪問
- 21～24日 オルギン外相のカリブ諸国歴訪

2 本文

【内政】

1 FARC党の大統領選挙出馬断念

7日、「人民革命代替勢力党（Fuerza Alternativa Revolucionaria del Comun）」（以下FARC党）は、記者会見を行い、大統領選挙に立候補予定であったロンドーニョFARC党全国政策評議会議長（「ティモチェンコ」元FARC最高司令官）の立候補を取りやめる決定をした旨表明した。ロンドーニョ議長は、同日に慢性塞栓性肺疾患及び虚血性心疾患のため、冠動脈バイパス手術を受けた。手術は成功し順調に回復しているものの、党として方針を協議した末、同議長の大統領選挙への立候補届出を行わず、また党として同議長に代わる他の候補の擁立も行わない旨表明した。

2 大統領選挙立候補登録締切り

7日、ファハルド元アンティオキア県知事（コロンビア同盟）は、副大統領候補にロペス上院議員（緑の同盟）を擁立し、大統領選挙の立候補登録を行った。15日、ドゥケ上院議員は、副大統領候補にラミレス元商工観光大臣を擁立し、大統領選挙の立候補登録を行った。16日、バルガス・ジェラス前副大統領は、副大統領候補にピンソン前国防大臣を擁立し、大統領選挙の立候補登録を行った。また同日、ペトロ前ボゴタ市長が、副大統領候補にロブレド下院議員を擁立し、大統領選挙の立候補登録を行った。

3 2018年国会議員選挙

11日、国会議員選挙及び2つの大統領予備選挙が実施された。今国会選挙では、民主中道党が上院第一党となり、ウリベ前大統領が最多得票で当選した。下院は自由党が第一党となった。急進改革党及び緑の同盟が議席数を伸ばす一方、現与党である国民統一党及び連立与党の自由党は議席を減らした。また、予備選挙では、ドゥケ候補（民主中道党）及びペトロ候補（「ペトロを大統領に」）が最多得票で大統領候補に選出された。

4 E L Nとの和平交渉再開

15日、サントス大統領はE L Nとの和平交渉再開を決定し、同日に第5回和平交渉が再開された。同交渉は、5月18日まで行われる予定。

5 米国が麻薬取引の取締りのための国際戦略レポートを発表

17日、米国は、2018年の麻薬取引の取締りのための国際戦略レポートを発表した。同レポートによると、2016年のコロンビアにおけるコカの生産量及びコカ栽培面積がそれぞれ710トン、18万8千ヘクタールと歴史的な数値を記録した旨報告されている。また、同レポートは、政府がコカの違法栽培地の作物駆除に係る予算割当を行うのであれば、コロンビアの麻薬対策が成功するであろうと指摘している。

6 エクアドルでの報道関係者誘拐事件

26日、エクアドル北西部のエスメラルダス県でエクアドルの「エル・コメルシオ」紙の記者2名及び運転手1名の計3名が誘拐された。捜査当局は、F A R C離反兵により構成される武装犯罪組織「オリベル・シニステラ戦線」の通称「グアチョ（Guacho）」による犯行としている。

7 大統領選挙世論調査

(1) Invamer社：

(調査日：3月16～20日，対象人数：1200，誤差：±3%，信頼度：95%) (括弧内は前回数値)

ドゥケ候補 (民主中道党)	45.9% (9.2%)
ペトロ候補 (ペトロを大統領に)	26.7% (23.5%)
ファハルド候補 (コロンビア同盟)	10.7% (20.7%)
バルガス候補 (#バルガス・ジェラスのほうがいいね)	6.3% (15.6%)
デ・ラ・カジェ候補 (自由党)	5% (11%)

(2) Guarumo社：

(調査日：3月17～21日，対象人数：2769，誤差：±2.5%，信頼度：95%)

ドゥケ候補 (民主中道党)	35.4% (23.6%)
ペトロ候補 (ペトロを大統領に)	22% (23.1%)
ファハルド候補 (市民の約束)	10.4% (8.1%)
バルガス候補 (#バルガス・ジェラスのほうがいいね)	6.9% (6.3%)
デ・ラ・カジェ元副大統領 (自由党)	5.7% (4.1%)

(3) CNC (Centro Nacional de Consultoria) 社：

(調査日：3月29～4月2日，対象人数：1203，誤差：±3.4%，信頼度：95%)

ドゥケ候補 (民主中道党)	36% (42%)
ペトロ候補 (ペトロを大統領に)	22% (26%)
ファハルド候補 (市民の約束)	17% (13%)
バルガス候補 (#バルガス・ジェラスのほうがいいね)	6% (6%)
デ・ラ・カジェ元副大統領 (自由党)	4% (2%)

【外交】

1 第7回コロンビア・米国ハイレベル会合

1日，第7回コロンビア・米国ハイレベル会合及び第6回安全保障に関するハイレベル会合が開催された。オルギン外相，シャノン米国務次官 (政治担当)，ワデル大統領副補佐官 (国家安全保障担当) がこれらの会合の議長を務めた。同会合の成果として，向こう5年間の麻薬対策に係る公約，違法鉱山対策に係るMOU署名などが挙げられる。

2 テレビ電話方式による太平洋同盟サミット

6日，テレビ電話方式による太平洋同盟サミットが開催された。同サミットでは，2030年に向けた太平洋同盟戦略ビジョンの進捗が確認された。また，太平洋同盟・準加盟候補国間交渉及び7月にメキシコで開催予定の太平洋同盟サミットが議題に挙げられた。

3 ビーズリー国連世界食糧計画事務局長の当地訪問

11～13日、ビーズリー国連世界食糧計画（WFP）事務局長は、ベネズエラ移民の増加問題の対応策を模索するため、コロンビアを訪問し、関係省庁と会合した。また、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。WFPは、公的機関で教育を受けているベネズエラ人に対する食糧計画の拡大を検討した。

4 マーリキー・パレスチナ外務・移民庁長官の当地訪問

13日、マーリキー・パレスチナ外務・移民庁長官はコロンビアを訪問し、オルギン外相と会談した。同会談では、国際的な課題及び二国間関係について話し合われた。

5 ライチャーク第72回国連総会議長の当地公式訪問

15～17日、ライチャーク第72回国連総会議長はコロンビアを初めて公式訪問した。同訪問の主な目的は、持続可能な開発のための2030アジェンダへの出席であった。同アジェンダは、サントス大統領及びオルギン外相から招待を受けたものであり、経済社会政策審議会（CONPES）の文書「コロンビアにおける持続可能な開発目標の実施戦略」が発表された。

6 スティリアニデス欧州委員会人道援助・危機管理担当委員及びカサス・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官の当地訪問

16日、スティリアニデス欧州委員会人道援助・危機管理担当委員及びカサス・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官はコロンビアを訪問し、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。「ス」欧州委員会人道援助・危機管理担当委員は、ラテンアメリカ・カリブ地域へ3100万ユーロの資金援助を発表した。同資金の内、600万ユーロがコロンビアに充てられ、200万ユーロがベネズエラ危機の影響を受けている者に充てられる。

7 サントス大統領のブラジル訪問

20日、サントス大統領はブラジルを訪問し、テメル大統領と首脳会談を行った。同訪問中、「サ」大統領はベネズエラ政府に対し、他国からの人道支援の受入れを要請した。また、同会談で「サ」大統領は、ブラジル及びアルゼンチンの太平洋同盟加盟の可能性を模索するため、6月に開催予定の太平洋同盟会合に「テ」大統領を招待する旨発表した。

8 オルギン外相のカリブ諸国歴訪

21～24日、オルギン外相は、カリブ諸国6か国（ベリーズ、ドミニカ共和国、ハイチ、ドミニカ国、バルバドス及びガイアナ）を歴訪した。同歴訪の目的は、技術協力、教育、貿易、投資、観光、安全保障及び移民といった分野での二国間関係の強化であった。